

くにもりこふん
国森古墳



調査地近景



調査地航空写真

県指定史跡

指定年月日：昭和 63 年 11 月 25 日

所在地：川西字大力 4 1 番地 他

国森古墳は、田布施川の支流である丸尾川に臨む標高約 40m の丘陵上に造られています。国森古墳は方墳（方形に盛って造られた古墳）で、高さ約 4m、幅約 30m の大きさです。

主体部は、墳丘の中心部分にて確認され、南北の長さ 8.6m、東西の幅 6m、深さ約 1.5m の二段掘りの大きな墓穴が掘られています。墓穴には粘土床が敷かれてあり、そこに箱形の木棺が納められていたと考えられています。

副葬品は主体部から多数発見されています（別頁：国森古墳出土品参照）。

□ 国森古墳は、3 世紀末から 4 世紀初め頃に周防地域で造られた最も古い古墳であり、副葬品からも当時の首長もしくは豪族の墓と考えられています。近くの木ノ井山古墳などとも関係性が考えられ、当時の周防国の歴史を知る上でも重要な古墳として位置づけられています。

※ 参考・引用文献 山口県埋蔵文化財センター編 1988「国森古墳」 田布施町教育委員会

問合せ先

田布施町教育委員会 社会教育課 社会教育係

Tel:0820-25-3185/Fax:0820-52-4904

E-mail shakaikyoiku@town.tabuse.yamaguchi.jp